

討議資料

岐阜県議会議員

山田まさる県政報告

人・地域・心の輪をつなげる

山田優県政報告第3号
平成26年7月1日発行
羽島市江吉良町311
オクシンシティ1階
TEL：058-392-0720
FAX：058-392-0721
発行人：山田まさる

各務原病院の視察

平成二十六年六月三日（火）岐阜県議会、厚生環境委員会の視察を行いました。

一ヶ所目は、医療法人 杏野会 各務原病院（各務原市）に伺いました。

昭和五十五年に精神科医療、とりわけ専門であるアルコール依存症治療に貢献したいと六十七床の



杏野会 各務原病院外観



光トポグラフィーで、うつ病等の診断

精神科病院として開院され、以来、市内唯一の有床精神科医療機関としての責務を果たすために、近隣の総合病院、診療所と連携して、うつ病、総合失調症、認知症等、多くの精神疾患の診療にあたるるとともに、精神科臨床研修施設として若手医師や医療スタッフの研修・教育も行なっているとの説明を受け、アルコール依存症治療に

については、症例数、治療プログラムでは全国レベルの高い水準と実績を誇っているとの報告を受けました。

平成二十四年三月に本館新築、一般病床三十床の増床を行い、身体合併症等の内科疾患も診療できる体制を整えた病院である。

うつ病鑑別診断に光トポグラフィーを利用し診断しており、治療へのきつかけづくりにも効果が表れているそうです。

フエニックスの視察

二ヶ所目は、同じ各務原市の社会福祉法人フエニックスに伺いました。



事業所内保育所「ショコラ」



高齢者と小さな子がふれあう様子

特別養護老人ホーム、グループホーム、ケアハウス、認知症対応型デイサービス、介護予防デイサービス事業を展開されています。従業員九十八人の内、約八割が女性である。

平成二十二年に事業所内保育所「ショコラ」を開設。常勤職員は自己負担ゼロで利用することができるなど、安心して働ける環境である。

短時間正社員、フレックススタイルの導入、育児休業から復帰するための相談窓口の設置など、仕事と家庭の両立支援を積極的に推進している。



車イスに乗ったままで入浴が可能

具体的な取組については、育児休業の取得、取得前と同待遇での復職を支援したり、育児による退職者を再雇用。また春・夏・冬休みに法人内学童保育を実施するなど、子育て支援にも取り組んでおられる。仕事と家庭の両立支援の推進を行なっているとのこと。

認知症の高齢者と小さなお子さんがふれあうことによって、相乗効果が表れているとのことでした。

特別養護老人ホームの視察

三ヶ所目は、大垣（和合）の特別養護老人ホーム優・悠・邑（ゆう・ゆう・ゆう）に伺いました。



プライバシーが確保された多床室

特養八十床の中で、五十二床が多床室となっており、多床室は障子戸やロールスクリーン等によってプライバシーに配慮された造りとなっていました。

また、地域住民が気軽に利用できる多目的の室も整備されています。また、床や腰板（メートル）が岐阜県産の杉を活用し、癒し効果も醸し出していました。

この施設の進むべき道は、特に「認知症ケア」「看取りケア」「リハビリテーション」「口腔ケア」の理論と実践から、個別の状態把握、記録や分析などのデータ集積をは



特養施設（優・悠・邑）の多目的室

じめ、「おむつゼロ」「骨折ゼロ」「胃ろうゼロ」「拘束ゼロ」「褥瘡ゼロ」の実現に向けた高品質、科学的介護サービスを提供し、明るい未来の福祉を創造していきたいとのことでした。

岐阜県美術館の視察

四ヶ所目は、岐阜県美術館（岐阜市）を見学しました。

今年度から、教育委員会から知事部局に移管された県美術館では、郷土にゆかりのある作家、日本美術の流れを展望するにふさわしい作家の作品及び世界の美術動向の中で特に創造性に優れた作品を積



県美術館で当県ゆかりの作家作品を視察

極的に収集、展示しているとの報告を受けました。また、パイプオルガンの定期演奏や一般向けの実技講座、子ども向けの造形教室も行なわれており、親子で楽しみながら芸術文化に触れていただけると感じました。

編集後記

今号は厚生環境委員会の視察を中心にレポートしました。平成二十六年第三回定例会では、子育て支援、ネットでのいじめ問題についての一般質問を行ないました。この後の号で報告致します。